
2017

研究集録 第 19 号

研 究 主 題

知的障害のある子どもの学び続ける力を育てる教科学習

—伝え合い学び合う国語科・算数(数学)科の指導—

まえがき

—全体研究—

本校の研究について

I はじめに

1. 内面の育ちから心豊かに生きるための学びへ
2. 知的障害教育における実学と教養
3. 受容する学力観と知的障害教育の動向
4. 教科学習で求められる「学び方」
5. 教科学習に対する本校の課題

II 研究主題及び目的

III 研究の実際

1. 国語科、算数・数学科についての研修
2. 研修成果の特別支援教育への応用
3. 研究キーワードの定義づけ
 - (1)本研究における「伝え合い学び合い」
 - (2)本研究における「学び続ける力」
4. 「学び続ける力」を育むための「授業づくりプロセス」の検討
 - (1)指導計画フェーズ
 - (2)教材研究フェーズ
 - (3)指導方法フェーズ
 - (4)学習評価サイクル

IV 研究のまとめ

V 文献

指導計画フェーズ 学習内容選定の観点

教材研究フェーズ 教材のアレンジ

指導方法フェーズ① 学習環境の工夫

指導方法フェーズ② 効果的なチーム・ティーチング

—自主研究・グループ研究—

自主研究・グループ研究について

1. 自分づくりを目指した授業プログラムの構築(3)

～卒業生の姿から～

2. 特別支援学校小学部における音楽教材の工夫と改善

3. 書き言葉によるやりとりから、話し言葉によるやりとりへ

～場面緘黙のあるAさんとの関わり～

4. 知的障害のある生徒の性に関する指導の工夫

—「心と身体につきあいかた」学習プログラムと個別指導教材の提案—

5. 特別支援学校における食と健康に関する指導の工夫

—授業実践「お弁当づくり」の可能性を探る—

6. 知的障害者の生涯学習に関しての一考察

～大阪・京都・滋賀・兵庫・奈良の特別支援学校の同窓会活動に関するアンケート調査より～

あとがき